

101 『海に踊る波飛沫』 Rita

<良い点>

良いアングルで捉えられていて波飛沫の高さが水平線を超えているので、奥行きがあつてとても良いですね。シャッタースピードも良く臨場感も出ています。

<改善点>

人の目線がまず写真の中心に向かいますので、その付近の一番目立つ波飛沫にピントを持ってきた方が、さらに臨場感が出たかなと思いました。またこの画角で表現するなら縦構図にしても面白いかなと感じました。

102◎ 『光を透かして』 Rita

<良い点>

メインとなる3枚の葉が対角線上置かれていて、構図に安定感がしっかり出ています。右上に持ってきた優しい前ボケや優しい光の入った背景もとても効いています。ピントや露出も問題ありません。光と影もうまく使えていて、新緑の力強さが感じられるとても良い作品ですね。

<改善点>

特に大きな改善点は見当たりませんが、メインの3枚を取り巻く空間がややせまいかなと感じました。もう少しだけ周りに空間を持たせられれば、この葉から感じられるストーリーに奥深さを与えられたかなと思いました。

103 『可憐に咲く』 Rita

<良い点>

メインも背景も全体的な色味が優しく、構図も安定感があって、落ち着いて見ていただける作品ですね。メインに持ってきたシベたちの背景がしっかり抜けている点も奥行きが感じられて良いと思いました。

<改善点>

右のシベにピントが合っていますが、中心付近の方のシベにはあまり合っていないのが少し残念ですね。こちらの方が印象が強いのでここにピントを持ってくればより生命感が出たかなと思いました。あとは写真の右側がややアンダーで重たく感じてしまうので、もう少しその部分を明るくしてあげると良いかと思います。

104◎ 『雫の中にある世界』 Rita

<良い点>

画角の中ではとても小さい雫なのに、その中のディテールがしっかり写せていて、存在感がとてもあつて素晴らしいなと思いました。また背景もとても変化に富んでいるのにちっともやかましくなく、背景だけでも絵が成立している…写真の中のそれぞれの場所からそれぞれの秋が伝わってくる、とても奥深い作品に仕上がっているなと思いました。

<改善点>

雫が付いている枝の先端部のボケ味がやや中途半端な感じで視線が持っていかががちになってしまうのが少し気になるんですが、背景とのバランスを考えるとこれ以上ボカすことも難しそうなので、それならいっそ先端部にもピントを合わせてみたら面白かったかなと思いました。

105 『光と色彩』 Rita

<良い点>

それぞれの色が美しく表現されていて、配置のバランスも良いので「色を楽しめる」作品に仕上がっていますね。言葉ではうまく表せませんが何か伝わってくるような雰囲気を持っていると思います。

<改善点>

ここまでボケ味を活かした作品にするなら、いっそ葉の部分も思いきりボカして、どこにもピントを合わせない作品というのもアリかなと思います。あとはノイズが気になるのでその辺りをしっかり改善していきましょう。

106 『春の光に照らされて』 Rita

<良い点>

色トビギリギリ手前の露出が、白の美しさをしっかり表現できていると思います。しっかり空間を右に取り、その部分に茎と同じ緑を配置することで全体的にまとまりのある作品に仕上がっていますね。

<改善点>

メインのピントが曖昧なのが残念ですね。しっかりシベの部分に合わせてあげてお花の表情を伝えてあげられれば良かったかなと思います。上部に写っている蕾は形もあまり良くなく、写真の端にあり過ぎて窮屈なのでここは入れない方がいいと思いました。

107 『火の粉舞う』 Rita

<良い点>

良いシャッタースピードを選択できているので、まるで生きているような火の動きがしっかり伝わってきます。色味も良く写真ではなく目の前で本当に燃えているような気がしました。

<改善点>

炎という人が近づけない被写体ですので、その緊張感や臨場感をもっと出せれば良かったかなと思いました。左に伸びている枝は視線が奪われるためあまり必要性を感じませんし、いっそ5:4か4:3くらいの縦構図にトリミングして黒い部分を少なくしてみてもどうでしょうか？

108 『冬本番に紅』 衛

<良い点>

背景に紅葉をちゃんと入れながらも色味を黄色メインで構成しているので、メインの色味がしっかり生きてきますね。背景からもしっかり秋を感じるディテールが出せていて良いと思いました。

<改善点>

メインが大きすぎると、撮影角度が真横からすぎるためか、紅葉という感じが伝わりにくく、背景から浮き出過ぎてしまっていて別物のように感じてしまいます。背景とマッチした主役の撮影を考えて見ましょう。あとノイズが気になりますのでしっかり対策をしてくださいませ。

109 『清く』 衛

<良い点>

背景の白が優しく、緑もアンダー気味に撮影されているので、とても落ち着いた心地よい背景が作れていると思います。

<改善点>

メインの花びらたちが白トビしてしまっているのが非常にもったいないですね。色トビが気になって生命感が伝わりにくいです。また写真左下角にある枝のゴチャゴチャ部分も気になりますので、そこは入れないようにしてあげましょう。

110 『ふわり開く』 衛

<良い点>

花びらの透明感が見事に表現できています。とても素晴らしい露出ですね。ピントもこっちを向いているシベにしっかり合っていて、お花の表情がすごく伝わってきました。

<改善点>

花の色はそれほど気になりませんが、空の青がマゼンタかぶりしていて不自然なのが残念ですね。あと枝の主張が強過ぎてメインの存在を弱めてしまっているので入れる部分を少なくしたり、ボカしたりしてあげましょう。空にある雲も花の引き立て役にはなっていないので不要かなと思いました。

111 『しなやかに』 衛

<良い点>

メインの花の撮影角度が良く、表情が伝わってきます。周りの花たちのボケ味も良くてメインを引き立てていますね。

<改善点>

やや花びらが白トビしてしまっているのが残念ですね。もう少しだけ抑えて撮影できれば良かったかなと思いました。あと左の空間があまり構図的に意味をなさないのももう少し狭めてあげると良いでしょう。

112 『桜全開！！！！』 衛

<良い点>

見てもらいたいところをしっかりと中心付近に配置し、そのものの美しさを伝えたいという思いがしっかり伝わってきますね。パワーを感じさせてくれます。

<改善点>

花びらの色トビと、全体的に色が青かぶりしているのが気になってしまいます。それが改善できればもっと自然な感じに仕上がったかなと思いました。あとボケ味が弱く背景のディテールがで過ぎていて視線が持っていかれがちなので、もう少しボケ味を強くさせても良かったかなと思いました。

113 『花のベンチ～冬のおもてなし』 組写真 みちる

<良い点>

一枚目の写真がとても世界観を感じられて良いと思いました。ベンチの奥の背景がとても美しく奥行きをすごく感じられて素敵ですね。三枚目も露出が良く主役と背景がはっきりしていて良い雰囲気が伝わ

ってきます。

<改善点>

一枚目の主張が強すぎるので、正直言いまして組写真にせず一枚目だけの作品として出す方が良かったかなと思いました。組み写真はそれぞれ同じくらいの印象がないとなかなか成立しにくいかなと感じます。その一枚目に関しては左下の枝がごちゃごちゃしていて視線を持っていかれがちになってしまうので、その部分をトリミングしてあげるとさらに良くなると思います。

114 『優しい梅の薫り』 りんりん

<良い点>

メインの花びらの柔らかさが出ていてとても良いですね。この白トビはアリだと思います。その周りの背景の明るさや色味も良く良い雰囲気を出せていると思います。向こうを向いた蕾も良いアクセントになっていますね。

<改善点>

写真左側の背景の暗部や、ボケた枝先が気になって、そこに視線が持っていかれがちになってしまいます。いっそ写真の左側4分の1くらいをトリミングしてしまっても良いかなと思いました。

115 『梅光』 りんりん

<良い点>

背景の色味や明るさが良く、さらにちょうど良いボケ味でディテールも感じられてとてもうまく背景を作れていると思いました。

<改善点>

それだけにメインが残念ですね。この素晴らしい背景に負けないようにしてもらいたかったです。色トビさせない、紅色の彩度をあげすぎない、枝の存在感を出しすぎないなど、背景以上に細心の注意を払って撮影してあげましょう。

116 『紅の海原に咲く宇宙（コスモス）』 りんりん

<良い点>

とても存在感のある一輪の花をさらに際立たせるために、大胆に色分けされた背景を使いつつ、しっかりメインは下のピンクの背景部分におさめる、なかなか面白いチャレンジができている作品だなと思いました。

<改善点>

こういう大胆な作品はごまかしが効かないので、細かな部分の完成度をより高める必要があると思います。ピントを今よりほんの少しだけ前に持ってきて手前のシベに合わせることでメインの生命感をさらに引き出す。背景の特に青の部分をもっと明るくしてあげてメインの元気さと釣り合うようにする。あとノイズも少し出ているのでそれをしっかり抑えてあげる。とことんこだわって作品づくりをやっていきましょう。

117 『紅に輝く』 宙美

<良い点>

赤の背景に雫の透明感が映えますね。その雫を中心からずらして配置できている構図も良いと思いました。

<改善点>

雫の中のディテールが弱いのが残念ですね。背景がふんわりしているのでその分雫の中の世界を見せることで奥深さを出せたかなと思います。あとノイズが気になるのでしっかり対処しましょう。

118 『移りゆく季（とき）』 宙美

<良い点>

今にも落ちそうな雫をしっかりと捉え、かつ雫の中のディテールも表現できていて素晴らしいですね。左に同じように雫がついた葉をボカして写し込めているのもとても良いアクセントになっています。色味や露出もバッチリですね。

<改善点>

メインの葉の上の部分の茶色？くなっているところが気になりますね。これを修正するのは難しいと感じますので、いっそここまで切り取ってしまっても良かったかなと思いました。あと中心上付近にあるボケた何かも気になりますので、入れないようにしてあげましょう。つまり写真上部をトリミングしてあげるともっと視線が定まるかなと思いました。

119 『しなやかに歌って』 宙美

<良い点>

撮影角度が良くピントの合わせ方も良いメインの花を、しっかりと明るくそれでいて優しさを感じる白と、カーブを描いた色味の良い緑の葉たちで包むことで、メインを最大限に引き立てていますね。とても良い作品づくりができていると思いました。

<改善点>

メインの花の左隣にある花の存在が少し強過ぎて、メインの存在感を弱めてしまっているように感じます。ただこれを改善するのはかなり難しいかなと思いますので、それならいっそメインと同じくらいしっかり表現することで2つをメインとする作風にしても良かったかなと思いました。

120◎ 『清流』 宙美

<良い点>

背景に距離の違うものをいくつか配置したことでそれぞれのボケ味の良さがしっかり出せていて、とても奥行きを感じさせてくれる作品ですね。色味や明るさもふんわり自然な仕上がりで素敵なだと思いました。またメインをど真ん中に持ってきつつも枝が若干傾けられているため、安定感のある自然な感じの構図ができていると思いました。

<改善点>

メインの花びらの白トビはこの作風ではアリではあると思うんですが、もう少しだけ抑えた方が良かったかなと思います。若干視線が奪われがちになってしまっています。それができていけばさらに良い作品になっていたかなと思いました。

121 『幸せのさくらドロップ』 宙美

<良い点>

全体的に良い露出で、しかもメインである大きな雫がど真ん中に配置されているので、見た瞬間に視線が迷わないのが良いですね。雫のディテールも良くうまく撮れていると思います。

<改善点>

雫自体は良いのですが、それに意味を持たせたり活かすための背景に物足りなさを感じるなので、作品としての重みが弱いかなど感じます。左上のシベをもっとボカしつつもう少し入れる量を増やしてみるとか、右端白っぽい空間をなくしてみるなどを試みてはどうでしょうか？

122 『見上げれば』 宙美

<良い点>

右の木の幹から緑の葉、そして左の桜、最後に空と、視線の誘導がとてもうまくできていて、まるでこの場に立っていてこの景色を眺めているような気にさせてくれますね。全体的な優しい色味の構成も素敵です。

<改善点>

右下角の何かボケて写っているのが気になって少し視線が奪われがちですね。また木の幹の右下の部分もディテールが強過ぎて若干やかましい感じがします。この部分を入れないようにうまく撮影できていれば、もっと作品としてまとまったかなと思いました。

123 『きらめく春』 宙美

<良い点>

遠近をうまく利用できているので、背景の良さがより一層伝わりますね。水面から対岸、そして桜と、逆光を浴びた暖かい緑を楽しんだ後に奥も楽しめるようになっていて視線の誘導がバッチリできていると思います。

<改善点>

それだけに右端の人工物は不要でしたね。視線の流れを邪魔してしまっています。右上角の茶色い木みたいなのも気になるので、右端をトリミングしてあげるとうまくまとまると思います。あと左上角の白トビも若干気になりますので、できれば抑えてあげたいですね。

124 『凧と咲く』 組写真 Rita

<良い点>

どちらも花びらの白の露出が良いので、安心して見ていられますね。背景も優しく表現できているのでメインを引き立てられていると思います。

<改善点>

組写真ということで距離の違う2枚で構成したのは良いと思うのですが、その割には変化が弱いかなど感じます。1をもう少し引きの写真にしても良かったかなと思いました。また2に関しては花びらの根本のディテールがはっきりし過ぎていて、あまり美しい部分ではないので、どうしても視線が奪われがちになるのがマイナスですね。ピントをもう少し手前のシベにしてはどうでしょうか？そうすることで今見えてしまっている花びらの根本のディテールがボカせてそこに視線が持っていけないようになると思います。

125 『大きな自然の小さな瞬間』 組写真 Rita

<良い点>

1と2と4のメインの雫のディテールがとても美しいだけでなく、周りにあるボケた雫たちの存在もやんわり感じられて、それぞれの雫たちがこの作品を作り上げている感じが伝わってきます。

とても良い作品だと思いました。3についてもとても面白く楽しい一枚に仕上がっていると思います。特に2はピント、露出、構図ともにとても素晴らしく良い作品だと思いました。

<改善点>

1と2と4（とくに1と2）は雰囲気似ているのに3だけかなり印象の違う写真なので、組写真としてはうまくまとまっていないような気がします。4枚とも似たような雰囲気にするか、

または印象をしっかりと変えるかした方が良いでしょう。また写真の完成度という点においても差が感じられるのが残念ですね。1に関してはメインの雫のすぐ左に写っている葉がどうしても気になって視線が奪われがちになるので、なければ良かったかなと思います。3に関しては左右の空間を入れずに背景を全面葉にってしまった方がよりメインに視線が注がれると思いました。4に関しては右の前ボケが少しやかましく視線が持っていかれてしまうので、もう少し優しく入れてあげると良いと思いました。

126 『春の呼び声』 優愛

<良い点>

濃いピンクがとても印象的で目に飛び込んできますね。メインとそれ以外にちゃんと距離も持たせられているのでメインが引き立っていて、さらに背景も奥行きがありいろんなもので構成されているので変化があって良いと思いました。

<改善点>

背景のボケ味が弱くディテールが少し強いので、どうしてもメインの存在感を弱めてしまっています。絞りを開けるなどして背景をもう少しボカしてあげられると良かったかなと思いました。あとは逆光気味のためか暗部が暗すぎるのも少し気になります。順光で撮影できていれば良かったかなと思いました。

127 『君の瞳に恋してる』 和~KAZ~

<良い点>

大きな雫の中のディテールがしっかり写し込めていて、視線が迷わずそこにいきますね。被写体の形に合わせた横長構図や、メインを中心より左上に配置できているおかげでとても構図が安定しています。赤の色味もうまく出せていますね。

<改善点>

絞りを開け過ぎているせいか、ボケ味が強いのが気になります。最初は迷わず雫に視線が行きますが、そのあと周りのボケが強過ぎて気になってしまい、雫に視線が戻って来れなくなってしまいました。もう少し絞るなどしてボケ味を弱めてあげると良いかと思います。

128◎ 『虹色コスモス畑』 YUMI

<良い点>

メインの美しい花の表情がとても良く分かるだけでなく、自然な角度で撮影できていて、いろんな色で構成されているのに露出が良いおかげでどの色もしっかり感じられ、かつ後にあるもう一輪も良い距離感と位置、そしてボケ味で配置できています。さらに背景が花の色味で構成されていて、一見派手になりそ

うなのにメインを邪魔しない明るさになっているので、メインととてもマッチしていて、とても素晴らしい作品に仕上がっていると思いました。

<改善点>

それだけに左下角から伸びている葉と、メインの茎の側にある葉がなければ良かったのになと強く思っていました。これくらいなら修正で消してしまっても良いと思います。あとは若干ノイズが気になるのでノイズ軽減をかけてあげると良いでしょう。この2点が改善できていれば迷わず準グランプリに選ばれたくらい、僕は大好きな作品でしたよ ^^

129 『夢見る虹色コスモス』 YUMI

<良い点>

ピント、露出が良く花の美しさをしっかり引き出せていると思います。背景の色味も面白くて良いですね。美しい作品だと思いました。

<改善点>

まずノイズが気になりますね。ノイズが気になってしまうとせっかくの作品の良さが台無しになってしまうので、ノイズには気をつけましょう。あと背景の色味もちょっと強過ぎてメインの存在を弱くしてしまっている気がしました。前ボケも効果的ではあるんですが、茎が隠れ過ぎていてお花が宙に浮いているようで不安定さを感じるので、もう少しだけ茎を見せてあげても良かったかなと思いました。

130 『コスモス・パレット』 YUMI

<良い点>

なかなかインパクトのある色味が印象的な一枚ですね。中心の濃い色に対し、左右を薄い色で構成できているので変化があって良いと思いました。

<改善点>

花びらが色トビしてしまっていてずっと見ていられないのが残念ですね。色トビしないように撮影してあげましょう。構図もお花の向きを考えると右が狭くて窮屈さを感じますので、もう少し広くしてあげて安定感を出してあげましょう。右下に写り込んでいる葉の先端のようなものも視線が持っていかれる原因となりますので、入れないように撮影するかトリミングしてあげましょう。

131 『ピンクコスモス姉妹』 YUMI

<良い点>

メインの位置、背景に対する大きさが良く、構図もずっと見ていられるくらい安定しています。また全体の明るさや色味もちょうど良く、自然な美しさが素直に感じられますね。背景もメインを引き立てるちょうど良いボケ味になっていると思います。中でも最も素敵だなと感じたのがメインのお花たちを支えているすらっと伸びた二本の茎をしっかりと写し込んでいることです。このシチュエーションを見つけられたということはしっかりとロケハンができている証拠ですね。

<改善点>

ピントが手前の花ではなく奥の花に合っていますね。意図して奥に合わせたのかもしれませんが、そうだとしたら手前の花が被りすぎていてピントを合わせたところの良さが見えてきません。奥に合わせたいのなら角度を工夫してもう少し奥が見える角度で撮影してあげましょう。この角度で撮影するなら手前の花にピントが良いと思います。必ずしも前ボケを作る必要はありません。あと少しノ



イズが気になります。ISO を上げすぎているのか、解像度の問題か分かりませんが、せっかくの良い写真ですのでノイズ出ない撮り方、または編集でノイズ軽減をしてあげましょう。

132 『小さくても』 YUMI

<良い点>

お花の白が色トビせず優しく表現されていますね。さりげない前ボケからメインがふわっと現れてきたような雰囲気が出ているのも素敵です。とろけるような背景も不思議な感じがして面白いと思いました。

<改善点>

メインのピントが甘く、存在感や生命感が伝わってきにくいので、しっかりピントを合わせてあげましょう。意図して日の丸構図（メインをど真ん中に持つてくる）にされているのかもしれませんが、メインの向きを考えると左側の空間が広すぎて不安定さを感じますので、やや左にメインを配置してあげると良かったかなと思いました。あとノイズが気になりますので、ISO を上げすぎないように、また最大の解像度で撮影できるようにしましょう。それでも出る場合は編集で軽減をしてあげましょう。

133 『しだれ梅と鴨』 YUMI

<良い点>

このシチュエーションを見つけたことが素晴らしいですね。僕もここで撮ってみたいくなりました。背景のボケ味も良く独特の雰囲気が出ています。緑の色味が美しく絶妙だと思いました。

<改善点>

せっかくの良い背景なのに、メインの花が白トビしてしまっているのが非常に勿体無いです。白トビしないようにちゃんと花の表情が伝わるように撮影してあげましょう。同時にメインの枝も明るすぎて目立ちすぎているのももう少し抑えてあげると良いでしょう。全体的にもっとアンダーにした方がこのシチュエーションの良さを引き出せると思いました。あとノイズが気になりますので、出ないようにしっかり対処してあげましょう。

134 『紅葉色とりどり』 YUMI

<良い点>

優しく垂れ下がる紅葉の枝に対し、縦構図で下にしっかり空間を作れているためとても構図が安定していると思います。またメインの葉のグラデーションに対し、背景からも同じような色の変化を感じられるのでとても統一感があって見応えがありますね。素敵な作品だと思いました。

<改善点>

メインはそこまで気にならないですが、背景がやや明るすぎてそっちに視線が引っ張られてしまうのが気になります。メインを引き立てる程度の明るさに調整してあげると良いかなと思いました。メインをどこまで入れるのが難しい判断ですが、見栄えが悪くならないならもう少しだけ入れてあげたほうが存在感がより増して良かったかなと思いました。

135 『二輪草』 YUMI

<良い点>

メインを邪魔しない優しい前ボケがとても良いですね。全体を緑で包めているから中心の白もより活きていると思います。下の蕾？や葉を入れてディテールも出している点も、メインの花の生命感がより伝わ

ってきて良いですね。

<改善点>

メインの花びらが少し白トビしてしまっていて表情が伝わらないので、色トビさせないように撮ってあげましょう。お花の向きに対し右側の空間が広くかつその暗部が重たくバランスが悪いので、そこをやや明るくしつつ若干右側を狭くしてあげると構図も安定すると思います。

136 『Spring ephemeral～カタクリ～』 YUMI

<良い点>

メインの色に対し、前ボケを白でしかも優しく配置できているので、とてもメインが生きていますね。前ボケの使い方が素晴らしいと思いました。明るさや全体の色味も自然ですと入ってきます。良い作品ですね。

<改善点>

かなりノイズが気になりますね。カメラの性能にもよりますが ISO を上げすぎるとノイズが出ますので ISO はできるだけ抑えめにしましょう。解像度も重要な要素ですので常に最高画質で撮影し、できれば RAW データから現像するようにしましょう。それでもノイズが出る場合は現像処理でしっかり軽減してあげましょう。あとは一番右端の暗部が少しだけ気になりますので、その部分はトリミングした方が良いと思います。

137 『Spring ephemeral～カタクリ 2～』 YUMI

<良い点>

花びらの開き具合を考え大胆な構図で撮影できているのが素晴らしいですね。これぞマクロ写真だと思いました。この距離この角度で捉えられたのは被写体をしっかり観察できている証拠だと思います。右下角に花びらの先を配置できていたり、茎のカーブの配置も抜群です。

<改善点>

ピントがシベにきていないのは意図してでしょうか？やはりこのシチュエーションで一番存在感を放っているのはシベですから、一番手前のシベにピントを合わせた方が良かったかなと思いました。花びらの白とびも悪くはないですがもう少し抑えてあげた方が良いでしょう。構図も方向性は良いと思いますが、若干左の空間が広すぎて不安定さを感じますので、縦横比を変えるなどしてほんの少しだけ左を狭めてあげると良いかなと思いました。

138 『庭の鴨とリフレクション』 航

<良い点>

鳥たちのリフレクションが楽しく、また向き合っているタイミングで撮影できているため、まるで見つめ合っているようでストーリーが感じられて良いですね。水面の揺れも背景の変化を与えられていて良いと思いました。

<改善点>

人工光源を使って撮影しているためか、はたまたカメラの設定なのか、メインだけが浮き出ているように写っていて違和感があります。できれば自然光で撮影し、メインと背景が一体となるようにしてあげましょう。また撮影角度が上からすぎていて奥行きが感じられないのももう少し視線を下げて撮影してあげると良いでしょう。

139 『緑の池と鴨』 航

<良い点>

リフレクションがしっかり感じられつつ、変化のある水面で構成されている背景で全体が埋め尽くされているためとても趣のある作品に仕上がっていると思います。三羽の鳥たちの配置も絶妙ですね。

<改善点>

ピントが甘く鳥たちの生命感が弱いのが残念です。一番手前の鳥の眼にしっかりピントを合わせてあげましょう。全体的に色温度が少し高く色相も緑が強いように感じますので少し色温度を下げ、色相もややマゼンタ寄りにしてあげると良かったかなと思いました（RAW データで撮影していれば現像で後からでも変えられます）。上下の空間がほんの少しだけ広いかなと感じますので、縦横比を変えて上下を少しトリミングしてあげても良いかなと思いました。

140 『オイチニー！』 航

<良い点>

白とグレーの色をしっかり色トビや色つぶれさせず表現できているからこそ、この大胆で不思議な構図が生きてきますね。人工物のラインも水平ではなく斜めに配置できているので逆に安定感が生まれています。主役の進行方向をワザと窮屈にさせて緊迫感を生み出しているのも面白いと思いました。

<改善点>

とはいえやはり主役の位置が端すぎて視界に入って来にくいです。今の位置よりもう少しだけで良いので左に配置してあげれば良かったかなと思いました。また主役にピントが来ていないのも視線がそこに行きにくい原因となっておりますので、しっかりとピントを合わせてあげましょう。

141 『鴨団子』 航

<良い点>

それぞれの鳥たちの表情が感じられて一羽一羽に愛着が湧くような写真ですね。心を込めて丁寧に取りられているように思います。季節感が伝わる一枚ですね。

<改善点>

やや空間が狭く窮屈さを感じるので、もう少しだけ周りの空間を入れてあげると良かったかなと思いました。鳥たちの目の周りの暗部が気になり眼力がやや弱いので暗部を持ち上げて眼をハッキリさせてあげると良いでしょう。水面の白トビも視線が持っていかれてしまいますのでできるだけ白飛びさせないように撮影してあげましょう。

142 『高速回転』 航

<良い点>

良い瞬間にシャッターを切れているのでとても躍動感のある写真に仕上がっていますね。鳥の生命感がとても伝わって来ました。

<改善点>

シャッタースピードが少し遅いためか、水しぶきの迫力が弱く感じます。もう少し早いシャッタースピードで撮ってあげると良かったかなと思いました。またこのタイミングではかなり難易度が高いと思いますが、鳥の眼にしっかりピントが合っていればもっと力強い作品になったかなと思います。

143 『美人のカラス』 航

<良い点>

眼にしっかりピントを合わせられているので、しっかりと生命感が伝わって来ます。背景が抜けているので主役を引き立てられていますね。

<改善点>

必ずしもそうしないといけないと言うわけではないのですが、このシチュエーションでは鳥の身体全体を見切れさせずに入れてあげたほうが、より存在感が伝わったかなと思いました。また背景のボケ味が弱くディテールが出すぎているので、もっとボケ味を強くできればさらに主役が引き立つかなと思いました。

144 『今年も来たよ！』 Kana

<良い点>

白と紫の色の出し方がとても美しいですね。前ボケもとても良い具合です。主役の生命感がしっかり伝わって来ました。

<改善点>

中心の黄色がやや色トビしてしまっていて視線が引っ張られがちになるので、もう少し抑えてあげましょう。左上のグレー部が他の部分に馴染んでおらず邪魔な存在となってしまってますので、これを入れないように撮影するのが大切かなと思いました。

145 『ぼかぼかニコニコお散歩』 Kana

<良い点>

背景の枝たちがメインのお花とかぶっていないため、メインがしっかり引き立てられていますね。全体的な露出も優しくて良い感じに仕上がっていると思います、

<改善点>

全体的にマゼンタが強く、やや違和感を感じます。もう少し自然らしい本来の色味に近づけてあげましょう。メインの花の枝のディテールが強すぎて花の存在を邪魔してしまっていますので、撮影角度を工夫するなどして枝の存在感をやや弱めてあげられると良かったかなと思いました。

146 『風も友だち』 Kana

<良い点>

メインの花びらや背景がギリギリ色トビしない露出で撮影できているのが良いですね。ピントもこつちを向いていて一番キレイな花のシベに合わせられているので表情がしっかり伝わって来ました。

<改善点>

やはり気になるのが枝の表情と花びらが散ってしまっているところですね。これもまた自然のワンシーンではあるのですが、それを伝えたいのならここまで広い背景ではなく縦構図でもっとそれを前面に押し出すべきかなと思います。逆に美しさだけを伝えたいのなら、この被写体選択はちょっと違うかなと思いました。

147 『見て！ここから広がる世界！』 Kana

<良い点>

雫を見せるためとは言え、この方向からの撮影と構図力はとても素晴らしいですね。生命感で溢れていてとても力強い作品になっていると思います。露出と色味もバッチリです。

<改善点>

それだけにピントがどこにも合っていないのが非常に残念です。これはワザとでしょうか？やはり中心やや下にある大きい雫の中に映し出されているお花にしっかりピントを合わせて欲しかったと思います。あとトリミングのしすぎなのか画質が良くないのか、はたまた使用レンズ（フィルター）の問題なのか、解像度がかなり低いのも勿体無いですね。作品として仕上げるためには解像度は非常に重要な要素ですので、そこを意識して撮影して貰えばなと思いました。

148◎ 『花色の光』 Kana

<良い点>

肉眼では見えない世界を美しいボケ味と奥深い色味で表現できていて、これぞメルヘンという写真かなと思いました。とにかくパッと見の印象が強烈で一気に心奪われてしまう素晴らしい作品ですね。構図もパーフェクトに素晴らしいです。

<改善点>

これでもっと完璧にピントが合っていて、解像度ももっとあれば、文句なしに僕の中のベスト3に入ってくる作品になっていたのになあと思いました。ドマクロの世界を完璧に表現するのは大変な作業ですがとことんこだわって撮影して貰えばと思います。ちなみにこういう写真を撮るには三脚を使つての撮影がオススメですよ。

149 『恵みの雨』 Kana

<良い点>

雫の中に世界を閉じ込め、それ以外をボケで構成する。撮影者の意図が明確に伝わってくる作品ですね。雫の中も外も良い露出と色味になっていますし。全体の中の雫の大きさや配置も良いと思いました。

<改善点>

雫の上の葉の黒い部分がどうしても気になりますね。これに視線が持っていかれてしまうのが非常に残念です。これを写し込まないように撮るか、無理なら残念ですがこれを撮るのを諦める勇気も大切ななと思いました。

150 『春が来た！』 あきら

<良い点>

花びらの白が色トビしていないのが良いですね。こっちを向いている3つのお花の表情もよくわかりますし、その右横に右を向いている花たちも良いアクセントになっていると思います。

<改善点>

背景がややアンダーすぎて視線が引っ張られてしまうので、もう少し背景を明るくしてあげると良いでしょう。また左から伸びている枝のディテールや暗さも気になるので枝の入る量をもう少し減らしつつ、やや明るくしてあげましょう。太陽の位置のせい色味が全体的にややピンクがかっている印象を受けますので、自然な色味に調節してあげましょう。